兵庫県保険医協会 北阪神支部 医院経営セミナー

スタッフ定着のポイント

講　師　桂 好志郎 社会保険労務士

せっかく優秀なスタッフを採用したのに定着しない、スタッフとトラブルになってしまったなど、雇用管理に悩みをお持ちの先生にぜひご参加いただきたい講座です。

今回は、優秀なスタッフを確保し、患者さんからも信頼される安定した医療機関をつくるために必要な雇用管理のポイントを、社会保険労務士の桂先生を講師に招きお話しいただきます。

長年の豊富な経験に基づき、就業規則の定め方や、採用時の労働条件通知についてなど、具体的なケースから学べます。院長先生はもちろん、奥様や労務担当の方の参加もお待ちしています。

●日時 / ５月３０日 (土)15:00 ～ 17:00　●会場 / 伊丹市産業・情報センター会議室Ａ

兵庫県保険医協会 北阪神支部レクリエーション企画

今年も開催します！！

丹波焼陶芸体験

講　師　丹波焼陶工　上中 稲右衛門 先生

オリジナルの作品を作ってみませんか？

湯呑みやお茶碗、丼などお好きなものを手回しろくろを使って作ります。初めての方やお子様でもお楽しみいただけますので、ご家族や職員の皆さまも奮ってご参加ください！

●日時 / ６月 20 日 (土)15:00 ～ 17:00　●会場 / きららホール 3 階・創作室

●参加費 (製作土代)/ 大人 2,000 円　子ども 1,000 円　定員２０人

上記企画へのお申込み、お問い合わせは、☎０７８－３９３－１８０７まで

兵庫県保険医協会
北阪神支部ニュース

2015年　3月25日号　No. 246
発行者　兵庫県保険医協会北阪神支部
支部長　中井通治
〒 650-0024　神戸市中央区海岸通 1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階
☎(078)393-1801　FAX(078)393-1802
http：// www. hhk. jp /

ストップ！患者負担増署名「私も集めてます」

国会で医療・介護の充実訴えたい

伊丹市　谷口耳鼻咽喉科　谷口　紀善先生

協会が５万筆を目標に取り組む「ストップ患者負担増」署名。現在３万６９７筆が集まっている。

入院時の食事代の自己負担引き上げや、紹介状なしの大病院受診時の定額負担などの患者負担増計画をもりこんだ「医療保険制度改革関連法案」が３月３日に閣議決定され、国会での審議が行われようとしている。協会は６月の通常国会閉会まで毎月の国会要請行動で、集まった署名を提出予定。多数の署名を集めている伊丹市の谷口紀善先生のコメントを紹介する。ぜひ引き続きのご協力をよろしくお願いしたい。

「社会保障制度の充実を直接訴えたい」

もともと消費増税は「社会保障に使う」「身を切る改革を行う」などとして、自民・民主・公明の３党合意で決められました。昨年４月の消費税８％で国民に８兆円もの負担増を強いて、円安で物価も上がり、社会保険料も介護保険料も上がりつづけ、年金も減るばかりで、国民の暮らしは今、悲鳴を上げています。今回の患者負担増計画で患者さんは皆困っており、負担引き上げに反対していて、署名運動には積極的に賛同してくれています。署名は６月の通常国会閉会まで集めるということですので、さらに多くの方に広げられるようがんばります。

「社会保障に使う」と言われた消費税増税分は、多くが財政再建に回され、景気回復のためにと法人税減税が行われました。東日本大震災から４年となりましたが、増税された震災復興税のうち９兆円が宙に浮いたままだと聞きます。おかしな話です。議員削減も進められておらず、閣僚への献金問題がつぎつぎと明らかになっています。

アベノミクスで景気回復が進んだと言っておられますが、その恩恵はいわゆる大企業にしか及んでいないのではないでしょうか。われわれ医療機関を含め、中小業者は苦しくなるばかりです。

介護報酬の引き下げが決まりましたが、介護を理由に年間 15 万人が離職し、ＧＤＰを押し下げる効果は１兆円近いという試算もあります。日本経済を回復させるためにも、介護報酬・診療報酬は引き上げて、社会保障制度全体の充実をはかっていただきたいです。

（２面につづく）

（1 面のつづき）

私たち国民は、いつか幸せにしてくれるだろうと信じ、不平不満を言うことなく、黙々と義務を果たすべきなのでしょうか。アベノミクスで、大企業には法人税減税など優遇がなされ、中小企業やわれわれ医療機関など、一般の国民は７割が豊かになった実感がありません。このことを自覚すべきではないでしょうか。

政府が閣議決定した医療保険制度改革関連法案にもりこまれた「患者申出療養制度」は、根拠のない保険外診療が広がり、混合診療の全面解禁につながるものではないかと懸念しています。ＴＰＰ交渉も進んでいるようですが、日本の医療分野へ市場原理主義を導入することで、混合診療が全面解禁され、日本の国民皆保険制度が崩壊することになってしまい、「病気を治すのも、金次第」という米国型医療システムに飲み込まれてしまいます。安全性・有効性が確認された治療・薬は、早く保険適用するよう力を尽くすべきです。

私も国会議員の方々へ直接要請に行きたいと思います。安倍首相の外交スケジュールを見ても、一生懸命であることがわかりますが、国内の基盤となる医療・介護などの充実に力を入れてほしいと、お願いしたいと思います。

「ストップ患者負担増」署名　めざせ！５万筆

3月19日現在　3万697筆

5万筆を目指して、現在も受付中です。

ご協力よろしくお願いします。

署名用紙の追加をご希望の場合は、協会事務局（078-393-1807）までご連絡ください。

☆北阪神支部ニュースへの投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。

日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せ下さい。

TEL 078-393-1801 ／ FAX 078-393-1802　e-mail　junki@doc-net.or.jp　担当；横山まで

第 331 回幹事会だより　於：３月５日（木）いたみホール　会議室３

◆北阪神支部の会員数と組織率

２/２７現在　医科３２７人（７２％）、歯科１７５人（５４％）

◆当面の支部活動

4 月 18 日 (土) 職員接遇研修会「ケーススタディで学ぶ患者さんとの接遇」(案内３面)

5 月 30 日 (土) 医院経営セミナー「スタッフ定着のポイント」（案内４面）

6 月 20 日 (土) レクリエーション企画「丹波焼陶芸体験」(案内４面)

以上を開催予定

お問い合わせはTEL 078-393-1807 小西・横山・小川まで

兵庫県保険医協会 北阪神支部 職員接遇研修会

ケーススタディで学ぶ 患者さんとの接遇

○日 時　4月18日（土）15 時～ 17 時

○会 場　いたみホール・中ホール

（ 伊丹市宮ノ前 1-1-3　☎072-778-8788）

○講　師　マネジメント・コンサルタント　松田　幸子先生

○参加費　1000円　※「医療安全管理対策研修会」の受講証を発行します

○定　員　100人（先着順）

医療機関においては、個々の職員の対応によって医院への信頼やイメージが創られるため、患者さんとの接遇やコミュニケーション能力の向上が強く求められます。

北阪神支部では、数多くの企業研修等でご活躍の松田幸子先生をお招きし、実際に医院に起こりがちなケーススタディから、接遇の基本やクレーム・電話などの対応についてお話いただきます。

新人職員の方だけでなく、中堅、ベテランの方も日頃の業務を見直す機会として、ぜひご参加下さい。

・お車の方は、市営宮ノ前地下駐車場をご利用ください。

●お問い合せは、

TEL：078-393-1807（小西・横山・小川）まで

（切り取らずに送信ください）　【ＦＡＸ返信】 078- 393- 1802宛

保険医協会北阪神担当行

● 職員接遇研修会に申し込みます

お名前	職種	経験年数

地区　　医療機関名　　代表者名

TEL（　　）　　－　　FAX（　　）　　－